

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金経営状況報告書

法人の概要（令和7年6月30日時点）

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金
- 2 目 的 県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖及び水や魚に親しむ機会の提供の促進に関する事業を行い、魚の豊かな川づくりを推進し、もって本県の内水面漁業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月23日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立許可年月日
平成6年3月4日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立登記年月日
平成6年3月7日)
- 5 基本財産 581,262,983円
出えん金 600,000,000円
鳥取県出えん金 275,000,000円
関係市町村出えん金 200,000,000円
建設業協会出えん金 100,000,000円
漁業関係団体出えん金 25,000,000円
平成29年度～令和5年度取崩し 38,500,000円
令和2年度～令和6年度償却原価 19,762,983円
(令和7年4月25日償却原価 158,017円)
- 6 役員等 評議員 4人 理事 4人 監事 2人
評議員 太田太郎(公立大学法人公立鳥取環境大学環境学部准教授)
" 中前雄一郎(とっとり生物多様性アドバイザー)
" 平野誠師(山陰旋網漁業協同組合顧問)
" 森下恵子(公益社団法人鳥取県栄養士会管理栄養士)
代表理事 中田達彦(日吉津村長)

業務執行理事 氏 良 介 (鳥取県農林水産部水産振興局長)
理 事 米 谷 浩 一 (一般社団法人鳥取県建設業協会専務
理事)
" 佐 藤 英 夫 (鳥取県内水面漁業協同組合連合会長)
監 事 坂 本 武 夫 (鳥取市農林水産部長)
" 西 根 泰 章 (西日本信用漁業協同組合連合会常務
理事)

7 職 員 3人

8 事 務 所 鳥取市東町一丁目220番地

令和6年度事業実施状況

【公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業】

1 増殖促進事業

(1) 助成

河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する淡水魚介類の種苗の放流（アユ、ヤマメ、ウナギ等）及び水産資源の確保等（淡水魚介類の産卵場造成等）のための事業に対し、事業費の一部を助成した。

近年、県内における河川や湖沼を取り巻く環境は、河川工事、自然流水量の減少等により自然生態系が大きく変化し、水生動物等の生息環境が著しく損なわれ、魚類等の水産資源が年々減少している。当法人は、内水面漁協の行う事業に対して助成を行うことにより、水産資源の保護増殖、河川及び湖沼の環境改善に寄与している。

決算額：7,818,000円

[実施状況]

ア 実施主体：千代川漁業協同組合

- ・概要：アユの稚魚810kg放流、アユの産卵場造成
- ・事業費（うち助成費）：2,555,000円（2,347,000円）

イ 実施主体：天神川漁業協同組合

- ・概要：アユの稚魚15万尾放流、ヤマメの成魚450kg放流、溪流魚の産卵場造成
- ・事業費（うち助成費）：3,498,000円（1,393,000円）

ウ 実施主体：日野川水系漁業協同組合

- ・概要：ヤマメの成魚1,650kg放流、ヤマメの稚魚21,650尾放流、アユの産卵場造成
- ・事業費（うち助成費）：5,264,710円（2,671,000円）

エ 実施主体：湖山池漁業協同組合

- ・概要：フナ採卵・孵化50,000尾放流、ウナギの稚魚30kg放流、シラウオ、エビ等の産卵場造成、シジミ漁場清掃及び孵化放流
- ・事業費（うち助成費）：909,287円（704,000円）

オ 実施主体：東郷湖漁業協同組合

- ・概要：ウナギの稚魚60kg放流、フナの稚魚30,000尾放流、エビ、シラウオ等の産卵場造成、漁場整備、湖底耕うん
- ・事業費（うち助成費）：1,024,000円（703,000円）

(2) 調査等

河川及び湖沼における水産資源の保護増殖、生態系の維持及び保全、また環境保全等のための調査等を実施した。

この調査により、県内の河川及び湖沼における水生動物、漁場等の状況を把握することができるほか、結果をホームページ上に掲載して広く社会一般に公表するため、関係機関のみならず遊漁者等への情報提供に繋がっている。

決算額：793,000円

[実施状況]

ア 年間水温調査（県委託事業）

県内主要3河川における水温記録装置による年間水温の測定結果のデータを回収した。

イ 遊漁者数調査（県委託事業）

県内主要3河川の各代表地点での遊漁者数のカウント、状況調査を行った。（6月から9月）

ウ アユ放流状況調査（県委託事業）

千代川漁協と天神川漁協のアユの放流状況等について聞き取り、結果を地図化した。

【公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業】

2 ふれあい事業

(1) 助成

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する地元の住民を中心とした魚のつかみ取り、放流等の事業（祭りやイベント内での実施も可）に対し、事業費の一部を助成した。令和6年度は12実施主体が事業を実施した。

近年、水生動物等に親しむ機会が減少してきているため、本事業の役割はますます重要であると考えられる。この事業を通じて、内水面に関心を持ってもらうとともに、環境に対する理解を深めてもらうほか、生態系の保全・維持の重要性を周知している。

決算額：417,000円

[実施状況]

ア 実施主体：鳥取市

- ・概要：地域の児童19名によるヤマメの稚魚放流。
- ・効果：児童が川や魚とふれあうことで、魚や川に関する関心を深めることができた。
- ・事業費（うち助成費）：30,000円（15,000円）

イ 実施主体：八頭町

- ・概要：町内園児約50名（3保育所）によるヤマメの稚魚放流。
- ・効果：水産資源の保護及び増殖を図るとともに、豊かな自然環境の中で水や魚に親しむ機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：100,000円（50,000円）

ウ 実施主体：河原町あゆ祭企画実行委員会

- ・概要：中学生以下の参加者約500名によるアユのつかみ取り。
- ・効果：水や魚に親しむことの楽しさを体験、魚の豊かな川づくりを推進する機会となったほか、河原地域のまちづくり、商工産業の活性化に繋がった。
- ・事業費（うち助成費）：356,400円（50,000円）

エ 実施主体：国府フィッシングフェスタ実行委員会

- ・概要：参加者約1,500名によるヤマメ釣り。
- ・効果：豊かな自然の中で魚や川に対する関心を深める機会となったほか、県内外から多数参加があったことから、国府地域の活性化に資することができた。
- ・事業費（うち助成費）：1,012,000円（50,000円）

オ 実施主体：小鷲河ふる里をまもる会

- ・概要：参加者約200名によるヤマメのつかみ取り、淡水魚の生態観察。
- ・効果：親子のふれあいの場となったほか、自然環境の大切さ、河川に生息する生き物について学ぶ機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：114,161円（50,000円）

カ 実施主体：智頭町親水公園連絡協議会

- ・概要：町内児童20名によるヤマメのつかみ取り、河川学習会。
- ・効果：自然環境の大切さや生態系のつながりを学ぶことができたほか、自然の中で楽しむことの素晴らしさを体験する機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：22,311円（11,000円）

キ 実施主体：天神川漁業協同組合

- ・概要：参加者11名によるヤマメのつかみ取り。
- ・効果：川魚を素手でつかむ、友達と協力し合って追いつめ、何度も挑戦してつかみ取るなど日常生活では得難い体験をする機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：66,000円（33,000円）

ク 実施主体：高勢地域協議会

- ・概要：地域住民等約60名によるイワナのつかみ取り。
- ・効果：豊富できれいな水や生き物、環境保全への関心を高める機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：50,000円（25,000円）

ケ 実施主体：竹田地域協議会

- ・概要：地域児童等約40名によるヤマメのつかみ取り。

- ・効果：豊富できれいな水や生き物、環境保全への関心を高める機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：50,000円（20,000円）
- コ 実施主体：みささ村地域協議会
 - ・概要：地域住民等約130名によるヤマメのつかみ取り。
 - ・効果：三徳川の魅力を再認識する機会となったほか、魚の棲むきれいな川づくりへの意識を高める機会となった。
 - ・事業費（うち助成費）：50,000円（25,000円）
- サ 実施主体：江府町観光協会
 - ・概要：小学生以下の参加者約450名によるアユのつかみ取り。
 - ・効果：地域の伝統行事の関連事業として行っていることから住民交流の場となったほか、魚や水に親しむ機会を提供することで河川美化の啓発を図ることができた。
 - ・事業費（うち助成費）：180,000円（50,000円）
- シ 実施主体：日野川水系漁業協同組合
 - ・概要：地域の園児33名によるサケの稚魚体験放流。
 - ・効果：豊かな自然環境の中で水や魚に親しむ機会となったほか、水産資源の保護増殖、漁業振興の活性化に繋がった。
 - ・事業費（うち助成費）：76,500円（38,000円）

【公益目的事業3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業】

3 普及啓発事業

(1) 現地研修会の開催

内水面に関わる利害関係者（一般県民、行政、漁業関係者等）が内水面における水産資源の実情を認識し、正しい専門知識を身につけ効果的な事業の実施及び信頼を深め協力体制の構築に繋がる機会を提供するため、各関係者が情報共有、学ぶ機会となる現地研修会を鳥取県と共同で開催した。

〔開催状況〕

令和6年度内水面漁業振興現地研修会

「アユもエビもカニも上る！小わざ魚道の作り方（天神川編）」

- ・日 時：令和7年1月22日（水）午前10時から午前10時58分まで
- ・場 所：倉吉市下田中町地先 郡山大口堰
- ・参加者：国土交通省、鳥取県、内水面漁協組合員等24名
- ・概 要

○説明「郡山大口堰について」

説明者 岡崎大樹氏（鳥取県農林水産部水産振興局水産振興課水産技師）

○講演「水辺の小わざ魚道の施工について」

講師 畑間俊弘氏（山口県水産研究センター内海研究部専門研究員）

○魚道内での施工説明等

(2) マップの作成

天神川水系川マップ、日野川水系川マップ、湖山池マップ、東郷池マップを最新の情報に修正し、各関係機関（内水面漁業協同組合、市町村、遊漁証取扱先等）に配布した。

また、このマップを多くの方に幅広く活用してもらうため、ホームページに掲載し、内水面に関する規則等の情報を発信した。

決算額：116,098円

〔作成状況〕

作成部数合計：3,940部

（天神川水系川マップ1,680部、日野川水系川マップ2,130部、湖山池マップ90部、東郷池マップ40部）

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	12,483,276	9,441,724	3,041,552
基本財産受取利息	12,483,276	9,441,724	3,041,552
受取補助金等	1,145,000	573,000	572,000
受取鳥取県補助金	352,000	275,000	77,000
受取鳥取県受託金	793,000	298,000	495,000
受取寄付金等	0	5,300,000	△ 5,300,000
受取寄付金等	0	5,300,000	△ 5,300,000
雑収益	407	71	336
受取利息	407	71	336
経常収益計	13,628,683	15,314,795	△ 1,686,112
(2) 経常費用			
事業費	12,290,193	14,318,430	△ 2,028,237
給料手当	3,053,641	2,486,859	566,782
退職給付費用	76,505	76,505	0
福利厚生費	495,314	403,921	91,393
旅費交通費	172,082	66,655	105,427
通信運搬費	78,346	135,711	△ 57,365
消耗品費	19,963	61,933	△ 41,970
印刷製本費	116,098	125,158	△ 9,060
光熱水料費	4,105	6,362	△ 2,257
賃借料	39,139	64,941	△ 25,802
支払助成金	8,235,000	10,890,385	△ 2,655,385
管理費	1,290,929	1,213,434	77,495
役員報酬	45,900	61,200	△ 15,300
給料手当	763,411	621,714	141,697
退職給付費用	19,126	19,126	0
福利厚生費	123,828	100,980	22,848
旅費交通費	20,631	31,725	△ 11,094
通信運搬費	200,672	281,978	△ 81,306
消耗品費	2,101	43,824	△ 41,723
光熱水料費	6,157	4,241	1,916
賃借料	58,708	43,295	15,413
食糧費	4,381	4,251	130
雑費	2,014	1,100	914
修繕費	44,000	0	44,000
経常費用計	13,581,122	15,531,864	△ 1,950,742
評価損益等調整前当期経常増減額	47,561	△ 217,069	264,630
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	47,561	△ 217,069	264,630
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	47,561	△ 217,069	264,630
一般正味財産期首残高	1,279,654	1,496,723	△ 217,069
一般正味財産期末残高	1,327,215	1,279,654	47,561
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	14,296,197	13,819,966	476,231
基本財産受取利息	14,296,197	13,819,966	476,231
受取寄付金等	0	5,300,000	△ 5,300,000
一般正味財産への振替額	△ 12,400,000	△ 14,653,269	2,253,269
一般正味財産への振替額	△ 12,400,000	△ 14,653,269	2,253,269
当期指定正味財産増減額	1,896,197	△ 833,303	2,729,500
指定正味財産期首残高	579,366,786	580,200,089	△ 833,303
指定正味財産期末残高	581,262,983	579,366,786	1,896,197
III 正味財産期末残高	582,590,198	580,646,440	1,943,758

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	(公1) 増殖促進事業	(公2) ふれあい事業	(公3) 普及啓発事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	11,234,948	11,234,948	1,248,328	12,483,276
基本財産受取利息	0	0	0	11,234,948	11,234,948	1,248,328	12,483,276
受取補助金等	793,000	352,000	0	0	1,145,000	0	1,145,000
受取鳥取県補助金	0	352,000	0	0	352,000	0	352,000
受取鳥取県受託金	793,000	0	0	0	793,000	0	793,000
雑収益	0	0	0	0	0	407	407
受取利息	0	0	0	0	0	407	407
経常収益計	793,000	352,000	0	11,234,948	12,379,948	1,248,735	13,628,683
(2) 経常費用							
事業費	9,871,958	1,352,908	1,065,327	0	12,290,193	0	12,290,193
給料手当	1,526,821	763,410	763,410	0	3,053,641	0	3,053,641
退職給付費用	38,253	19,126	19,126	0	76,505	0	76,505
福利厚生費	247,658	123,828	123,828	0	495,314	0	495,314
旅費交通費	168,493	3,159	430	0	172,082	0	172,082
通信運搬費	31,148	15,574	31,624	0	78,346	0	78,346
消耗品費	19,963	0	0	0	19,963	0	19,963
印刷製本費	0	0	116,098	0	116,098	0	116,098
光熱水料費	2,053	1,026	1,026	0	4,105	0	4,105
賃借料	19,569	9,785	9,785	0	39,139	0	39,139
支払助成金	7,818,000	417,000	0	0	8,235,000	0	8,235,000
管理費	0	0	0	0	0	1,290,929	1,290,929
役員報酬	0	0	0	0	0	45,900	45,900
給料手当	0	0	0	0	0	763,411	763,411
退職給付費用	0	0	0	0	0	19,126	19,126
福利厚生費	0	0	0	0	0	123,828	123,828
旅費交通費	0	0	0	0	0	20,631	20,631
通信運搬費	0	0	0	0	0	200,672	200,672
消耗品費	0	0	0	0	0	2,101	2,101
光熱水料費	0	0	0	0	0	6,157	6,157
賃借料	0	0	0	0	0	58,708	58,708
食糧費	0	0	0	0	0	4,381	4,381
雑費	0	0	0	0	0	2,014	2,014
修繕費	0	0	0	0	0	44,000	44,000
経常費用計	9,871,958	1,352,908	1,065,327	0	12,290,193	1,290,929	13,581,122
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,078,958	△ 1,000,908	△ 1,065,327	11,234,948	89,755	△ 42,194	47,561
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,078,958	△ 1,000,908	△ 1,065,327	11,234,948	89,755	△ 42,194	47,561
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,078,958	△ 1,000,908	△ 1,065,327	11,234,948	89,755	△ 42,194	47,561
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	1,279,654	1,279,654
一般正味財産期末残高	△ 9,078,958	△ 1,000,908	△ 1,065,327	11,234,948	89,755	1,237,460	1,327,215
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	0	0	0	12,866,578	12,866,578	1,429,619	14,296,197
基本財産受取利息	0	0	0	12,866,578	12,866,578	1,429,619	14,296,197
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 11,160,000	△ 11,160,000	△ 1,240,000	△ 12,400,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 11,160,000	△ 11,160,000	△ 1,240,000	△ 12,400,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	1,706,578	1,706,578	189,619	1,896,197
指定正味財産期首残高	0	0	0	521,430,107	521,430,107	57,936,679	579,366,786
指定正味財産期末残高	0	0	0	523,136,685	523,136,685	58,126,298	581,262,983
III 正味財産期末残高	△ 9,078,958	△ 1,000,908	△ 1,065,327	534,371,633	523,226,440	59,363,758	582,590,198

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	231,304	1,388,237	△ 1,156,933
未収金	1,145,000	573,000	572,000
流動資産合計	1,376,304	1,961,237	△ 584,933
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	81,421,000	81,421,000	0
投資有価証券	499,841,983	497,945,786	1,896,197
基本財産合計	581,262,983	579,366,786	1,896,197
固定資産合計	581,262,983	579,366,786	1,896,197
資産合計	582,639,287	581,328,023	1,311,264
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	18,297	651,155	△ 632,858
預り金	30,792	30,428	364
流動負債合計	49,089	681,583	△ 632,494
負債合計	49,089	681,583	△ 632,494
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	581,262,983	579,366,786	1,896,197
(うち基本財産への充当額)	(581,262,983)	(579,366,786)	(1,896,197)
2. 一般正味財産	1,327,215	1,279,654	47,561
正味財産合計	582,590,198	580,646,440	1,943,758
負債及び正味財産合計	582,639,287	581,328,023	1,311,264

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 …… 移動平均法による原価法によっている。ただし、債券の取得金額と債券価額が異なる時にその差額が金利の調整を認めるものは償却原価法（定額法）によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	81,421,000	81,421,000	81,421,000	81,421,000
投資有価証券	497,945,786	1,896,197	0	499,841,983
小 計	579,366,786	83,317,197	81,421,000	581,262,983
合 計	579,366,786	83,317,197	81,421,000	581,262,983

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	81,421,000	(81,421,000)	(0)	-
投資有価証券	499,841,983	(499,841,983)	(0)	-
小 計	581,262,983	(581,262,983)	(0)	-
合 計	581,262,983	(581,262,983)	(0)	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
ソフトバンクグループ株式会社 第55回無担保社債	199,841,983	200,060,000	218,017
ソフトバンクグループ株式会社 第59回無担保社債	300,000,000	293,550,000	△ 6,450,000
小 計	499,841,983	493,610,000	△ 6,231,983
合 計	499,841,983	493,610,000	△ 6,231,983

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 令和6年度鳥取県魚を 育む内水面漁業活動支 援事業費補助金	鳥取県	0	352,000	352,000	0	—
合 計		0	352,000	352,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	12,400,000
合 計	12,400,000

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金 西日本信用漁業協同組合連 合会鳥取支店	運転資金として	231,304	
	未収金	鳥取県補助金	令和6年度鳥取県魚を育む内水面漁業活 動支援事業費補助金未収分	1,145,000	
		鳥取県受託金	令和6年度アユ資源増殖促進業務委託金 未収分	352,000	
				793,000	
流動資産合計				1,376,304	
(固定資産)	基本財産	預金(指定)	西日本信用漁業協同組合連 合会鳥取支店 定期預金	81,421,000	
				公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	73,278,900
	投資有価証券 (指定)	事業債	ソフトバンクグループ株式会社 第55回無担保社債	公益目的事業に必要な業務又は活動の用 に供する財産であり、運用益を管理費の 財源として使用している。	8,142,100
			ソフトバンクグループ株式会社 第59回無担保社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	199,841,983
			ソフトバンクグループ株式会社 第55回無担保社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	179,857,785
			ソフトバンクグループ株式会社 第59回無担保社債	公益目的事業に必要な業務又は活動の用 に供する財産であり、運用益を管理費の 財源として使用している。	19,984,198
			ソフトバンクグループ株式会社 第59回無担保社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	300,000,000
			ソフトバンクグループ株式会社 第59回無担保社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	270,000,000
			ソフトバンクグループ株式会社 第59回無担保社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	30,000,000
			ソフトバンクグループ株式会社 第59回無担保社債	公益目的事業に必要な業務又は活動の用 に供する財産であり、運用益を管理費の 財源として使用している。	
固定資産合計				581,262,983	
資産合計				582,639,287	
(流動負債)	未払金	3月分NTT西日本等利用料 労働保険料	NTTファイナンス(株)に対する未払額	18,297	
			労働保険料確定による差引未払額	5,181	
				13,116	
	預り金	役員報酬預り分 職員給料預り分	源泉所得税	30,792	
			源泉所得税、住民税	312	
			30,480		
流動負債合計				49,089	
負債合計				49,089	
正味財産				582,590,198	

附属明細書

1. 基本財産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	西日本信用漁業協同組合連合会定期預金	81,421,000	81,421,000	81,421,000	81,421,000
	ソフトバンクグループ株式会社第55回無担保社債	197,945,786	1,896,197	0	199,841,983
	ソフトバンクグループ株式会社第59回無担保社債	300,000,000	0	0	300,000,000
	基本財産計	579,366,786	83,317,197	81,421,000	581,262,983

令和7年度事業計画

【公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業】

1 増殖促進事業

県内における河川や湖沼を取り巻く環境は、社会経済の進展による生産拡大及び生活様式の変化に伴う人為的汚濁廃水の増大、更に河川工事、自然流量の減少等により自然生態系が大きく変化し、水生動物等の生息環境が著しく損なわれ、魚類等の水産資源が年々減少している。水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進するため、河川及び湖沼の環境改善の進展と並行して、激減している魚類等の水産資源の保護及び培養に積極的に取り組む。

(1) 助成

河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために内水面漁協が実施する淡水魚介類の種苗の放流（アユ、ヤマメ、ウナギ等）及び水産資源の確保等（淡水魚介類の産卵場造成、カワウの追払い等）のための事業に対し、事業費の一部を助成する。

〈助成計画〉

実施主体	助成額	事業内容
千代川漁業協同組合	2,326,000円	アユの種苗放流、アユの産卵場造成
天神川漁業協同組合	1,361,000円	アユ等の種苗放流、溪流魚の産卵場造成
日野川水系漁業協同組合	2,665,000円	溪流魚の種苗放流、アユの産卵場造成等
湖山池漁業協同組合	693,000円	ウナギ等の種苗放流、シジミ漁場清掃等
東郷湖漁業協同組合	701,000円	ウナギ、フナの種苗放流、産卵場造成事業
計	7,746,000円	

(2) 調査等

河川及び湖沼における水産資源の保護増殖、生態系の維持及び保全、また環境保全等のための調査等を実施する。結果等については、ホームページ上での掲載等の方法により、広く社会一般に公表する。

〈実施計画〉

ア 年間水温調査（県委託事業）

県内主要河川における水温記録装置による測定結果の回収を行う。

イ 遊漁者数調査（県委託事業）

6月～9月に、県内主要河川の各代表地点での遊漁者数のカウント、釣果状況等調査する。

ウ アユ放流状況調査（県委託事業）

千代川漁協と天神川漁協のアユの放流状況等について調査し、地図化する。

【公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業】

2 ふれあい事業

一般県民にとって、河川や湖沼は川遊びや釣りなどの親水性レクリエーションの場となっており、社会的に大きな役割を果たしている。しかし、現状は河川及び湖沼の流域の改変や内水面を取り巻く環境の変化に伴い、水生動物等に親しむ機会も減少してきているため、この役割がますます重要となっていることから、内水面の環境に対する理解を深め、関心を持ってもらい、河川や湖沼において水生動物等に親しむ機会を提供するとともに水産資源と人との共存及び生態系の保全・維持の重要性を周知し、地域の活性化に寄与することを目指す。

(1) 助成

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協等が河川や湖沼において実施する魚のつかみ取り、放流等の事業（祭り、イベント内での開催も可。）に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は前年度中に公募し、応募のあったすべての事業について理事会で審査・選定を行い、助成額（各事業への助成額は事業費の2分の1以下で上限50千円。）等を決定している。

また、実施主体が市町村である事業を除き、全額県の補助を受けて実施する。

〈助成計画〉

実施主体	助成額	事業内容
鳥取市	34,000円	地元の小学生によるヤマメの稚魚放流
八頭町	50,000円	地元の園児によるヤマメの稚魚放流

若桜町	50,000 円	地元の園児によるヤマメの稚魚放流
勝部地域まちづくり協議会	50,000 円	参加者(中学生以下)によるヤマメのつかみ取り
河原町あゆ祭企画実行委員会	50,000 円	参加者(中学生以下)によるアユのつかみ取り
国府フィッシングフェスタ実行委員会	50,000 円	参加者によるヤマメ釣り
小鷲河ふる里をまもる会	50,000 円	参加者によるヤマメのつかみ取り、淡水魚の生態観察
佐治ふるさと祭り実行委員会	50,000 円	参加者によるヤマメ釣り
三滝まもり隊	49,000 円	参加者によるヤマメ釣り
智頭町親水公園連絡協議会	25,000 円	町内児童によるヤマメのつかみ取り、学習会
高勢地域協議会	30,000 円	参加者によるヤマメ・イワナのつかみ取り、水辺の環境整備
竹田地域協議会	25,000 円	参加者によるヤマメのつかみ取り、水辺の環境整備
みささ村地域協議会	30,000 円	親子の参加者によるヤマメのつかみ取り
江府町観光協会	50,000 円	参加者(小学生以下)によるアユのつかみ取り
日野川水系漁業協同組合	36,000 円	地元の園児によるサケの稚魚放流
計	629,000 円	

【公益目的事業3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業】

3 普及啓発事業

県内の河川及び湖沼において円滑に水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進していくため、内水面に関わる利害関係者（一般県民、行政、漁業関係者等）が内水面における水産資源の実情を認識し、正しい専門知識を身につけ効果的な事業の実施及び信頼を深め協力体制の構築に繋がる機会を提供するほか、内水面に関する規則等重要な情報を積極的に発信していくこと等により、水産資源の保護培養のための普及啓発を行う。

(1) 講演会等の開催

河川及び湖沼の環境の悪化等外的要因を起因とする水産資源に関する諸問題をテーマとし、講演会等を開催する。現況の認識及び情報共有の機会とするほか、参加者による意見交換等を行い、河川環境の改善のための方針の決定や水利調整を図る。

〈実施計画〉

鳥取県と共催で、講演会等を開催する。

(2) マップの作成

本法人が作成している県内主要河川、湖沼における各釣り場の表示や規則等を掲載した「マップ」を、毎年度最新の情報に修正して各関係機関（市町村、遊漁証取扱先、内水面漁協）に無償配布する。また、作成したマップをホームページに掲載し、幅広く活用してもらう。

〈助成計画〉

合計3,940部（天神川水系川マップ、日野川水系川マップ、湖山池マップ、東郷池マップ）

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	12,473	11,463	1,010	
基本財産受取利息	12,473	11,463	1,010	債券、定期運用益
受取補助金等	1,291	1,186	105	
受取鳥取県補助金	495	390	105	
受取鳥取県受託金	796	796	0	
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	
経常収益計	13,765	12,650	1,115	
(2) 経常費用				
事業費	12,723	12,118	605	
給料手当	3,080	2,764	316	
退職給付費用	156	79	77	
福利厚生費	528	452	76	
旅費交通費	250	265	△ 15	
通信運搬費	94	79	15	
消耗品費	60	30	30	
印刷製本費	120	117	3	
光熱水料費	12	12	0	
賃借料	48	47	1	
支払助成金	8,375	8,273	102	
管理費	1,477	1,327	150	
役員報酬	72	72	0	
給料手当	770	691	79	
退職給付費用	39	20	19	
福利厚生費	132	113	19	
旅費交通費	50	50	0	
通信運搬費	220	205	15	
消耗品費	30	30	0	
光熱水料費	18	18	0	
賃借料	72	69	3	
食糧費	10	10	0	
雑費	20	5	15	
修繕費	44	44	0	
経常費用計	14,200	13,445	755	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 435	△ 795	360	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 435	△ 795	360	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 435	△ 795	360	
一般正味財産期首残高	1,279	1,195	84	
一般正味財産期末残高	844	400	444	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	12,548	13,359	△ 811	
基本財産受取利息	12,548	13,359	△ 811	債券運用益+償却原価額
一般正味財産への振替額	12,390	11,463	927	
一般正味財産への振替額	12,390	11,463	927	債券運用益
当期指定正味財産増減額	158	1,896	△ 1,738	
指定正味財産期首残高	581,262	579,366	1,896	
指定正味財産期末残高	581,420	581,262	158	
III 正味財産期末残高	582,264	581,662	602	

収支予算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	(公1) 増殖促進事業	(公2) ふれあい事業	(公3) 普及啓発事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	11,226	11,226	1,247	12,473
基本財産受取利息	0	0	0	11,226	11,226	1,247	12,473
受取補助金等	796	495	0	0	1,291	0	1,291
受取鳥取県補助金	0	495	0	0	495	0	495
受取鳥取県受託金	796	0	0	0	796	0	796
雑収益	0	0	0	0	0	1	1
受取利息	0	0	0	0	0	1	1
経常収益計	796	495	0	11,226	12,517	1,248	13,765
(2) 経常費用							
事業費	9,984	1,613	1,126	0	12,723	0	12,723
給料手当	1,540	770	770	0	3,080	0	3,080
退職給付費用	78	39	39	0	156	0	156
福利厚生費	264	132	132	0	528	0	528
旅費交通費	230	10	10	0	250	0	250
通信運搬費	36	18	40	0	94	0	94
消耗品費	60	0	0	0	60	0	60
印刷製本費	0	0	120	0	120	0	120
光熱水料費	6	3	3	0	12	0	12
賃借料	24	12	12	0	48	0	48
支払助成金	7,746	629	0	0	8,375	0	8,375
管理費	0	0	0	0	0	1,477	1,477
役員報酬	0	0	0	0	0	72	72
給料手当	0	0	0	0	0	770	770
退職給付費用	0	0	0	0	0	39	39
福利厚生費	0	0	0	0	0	132	132
旅費交通費	0	0	0	0	0	50	50
通信運搬費	0	0	0	0	0	220	220
消耗品費	0	0	0	0	0	30	30
光熱水料費	0	0	0	0	0	18	18
賃借料	0	0	0	0	0	72	72
食糧費	0	0	0	0	0	10	10
雑費	0	0	0	0	0	20	20
修繕費	0	0	0	0	0	44	44
経常費用計	9,984	1,613	1,126	0	12,723	1,477	14,200
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,188	△ 1,118	△ 1,126	11,226	△ 206	△ 229	△ 435
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,188	△ 1,118	△ 1,126	11,226	△ 206	△ 229	△ 435
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,188	△ 1,118	△ 1,126	11,226	△ 206	△ 229	△ 435
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	1,279	1,279
一般正味財産期末残高	△ 9,188	△ 1,118	△ 1,126	11,226	△ 206	1,050	844
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	0	0	0	11,293	11,293	1,255	12,548
基本財産受取利息	0	0	0	11,293	11,293	1,255	12,548
一般正味財産への振替額	0	0	0	11,151	11,151	1,239	12,390
一般正味財産への振替額	0	0	0	11,151	11,151	1,239	12,390
当期指定正味財産増減額	0	0	0	142	142	16	158
指定正味財産期首残高	0	0	0	523,136	523,136	58,126	581,262
指定正味財産期末残高	0	0	0	523,278	523,278	58,142	581,420
III 正味財産期末残高	△ 9,188	△ 1,118	△ 1,126	534,504	523,072	59,192	582,264